

令和3年度 国語科

教科	国語	科目	国語総合A	単位数	2	年次	1
使用教科書	高等学校 改訂版 新訂「国語総合」現代文編 (第一学習社)						
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・常用国語便覧 巻頭増補版(浜島書店) ・級別漢字セミナー(浜島書店) 						

1 担当者からのメッセージ

- ・1年生では基礎的・基本的な国語の力を育成します。
- ・様々な文章を「読む」「書く」ことで言語感覚を磨き、語彙力を身につけます。
- ・話し合いやプレゼンテーションなど「話す」「聞く」活動等を通じて対話的で深い学びを修得していきます。

2 学習の到達目標

- ・文章の内容に即して筆者(作者)の考えを読み取ることができる。
- ・目的や場に応じて自分の考えを他者に伝えることができる。
- ・お互いの意見を尊重し、他者の考えを理解することができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲 ・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析(ワークシート、原稿用紙) 定期考査	記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、語句調べプリント等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

期学	元単	学習内容	主な評価の観点	単元(題材)の評価規準	評価方法
----	----	------	---------	-------------	------

			a	b	c	d	e		
1 学期	随 想	教材： 「交換は楽しい」 ワークシート	○			◎	○	a：交換が果たしている役割を読み取り、コミュニケーションの本質について考える契機とする。 d：タイトルやキーワードの意味と、具体例で表されている筆者の主張の要点を理解している。 e：中学校までに学んできた主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	a:授業の取り組み姿勢 d:記述の確認 e:記述の確認
	評 論	教材： 「水の東西」 ワークシート	○			◎	○	a：東西の文化の特徴を身近な経験を通して考えようとしている。 d：評論文の論理の展開や要旨を的確に読み取る。 e：本文を通して水に対する東西の捉え方の違いを知る。	a:授業の取り組み姿勢 d:記述の確認 e:記述の確認
	小 説	教材： 「羅生門」 ワークシート	○	○		◎	○	a：登場人物の状況、変え方を捉え、その行動や心情の変化が場面の推移に従ってどのような表現で描かれているかを理解しようとしている。 b：登場人物の「悪」に対する考え方について自分の考えを發表できる。 d：登場人物の心情の移り変わりを的確に読み取ることができる。 e：文章構成における場所や時間の設定、多用されている動物の比喻などの意味するものを的確に捉えている。	a:授業の取り組み姿勢 b:授業での話し合い d:記述の確認 e:記述の確認
	評 論	教材： 「『本当』の自分幻想」 ワークシート	○			◎	○	a：ソーシャル・ネットワーキング・サービスが普及した現代におけるコミュニケーションについて、また「本当の自分」について、筆者の主張をふまえて自分なりの考えを持つ。 d：一つ一つのエピソードが語っていることの意味を理解し、記述をふまえて読み取っている。 e：文章の組み立てにおける具体例の挿入や、論の展開と整理、まとめが把握できている。	a:授業の取り組み姿勢 d:記述の確認 e:記述の確認
2 学期	評 論	教材： 「木を伐る人／植える人」 ワークシート	○			◎	○	a：「木を伐る人」／「木を植える人」の対峙の構図を壊すという筆者の主張を読み、物事に対する多面的な視点を養う。 d：筆者の主張を読み取り、評論の読解方法を習得していく。 e：具体例、参照すべき図や写真を参照し、展開される文章の構成を理解している。	a:授業の取り組み姿勢 d:記述の確認 e:記述の確認

	小説	教材: 「鏡」 ワークシート	○			◎	○	a: 「僕」の感じた「恐怖」とはどのようなものか考える。また、「僕」の性格・心理・行動を的確に読み取る。 d: 一人称の語りという表現形式の効果について理解する。 e: 小説を鑑賞する方法を知る。	a: 授業の取り組み姿勢 d: 記述の確認 e: 記述の確認
	評論	教材: 「オンリー1か、ナンバー1か」 ワークシート	○			◎	○	a: 身近な事柄をきっかけとして生態学を説く筆者のねらいを理解し、生物の棲み分け理論について考えを深める。 d: 小見出しのタイトルやキーワードの意味を理解する。 e: 文章中の重要語句の意味を理解し、それが筆者の主張とどのように結びついているのか知る。	a: 授業の取り組み姿勢 d: 記述の確認 e: 記述の確認
	短歌。俳句	教材: 「その子二十」 「こころの帆」 ワークシート	◎	○	○	○	○	a: 短歌や俳句を読み比べ、リズムを味わい、それぞれの短歌や俳句の違いやおもしろさを感じ取ろうとしている。 b, c: 内容や表現の仕方について話し合い、自分の感想を述べたり、他者の考えを聞いたりする。またそれらを書き、自分の考えをまとめる。 d: それぞれの短歌や俳句がどのような情景をよみ、どのような心情を表しているのか、解説文や書籍などをふまえて理解を深めている。 e: 短歌や俳句における語句の効果的な使い方や、修辞の技巧がもたらす効果について理解している。	a: 授業での取り組み姿勢 b: 授業での話し合い c: 記述の確認 d: 記述の確認 e: 記述の確認
3学期	小説	教材: 「夢十夜」 ワークシート	○			◎	○	a: 夢幻的な雰囲気のある文章を読み味わい、登場人物の心理・行動を的確に読み取る。 d: 近代の代表的な小説家の作品を読んで、短編小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。 e: 夏目漱石に対する理解を深める。	a: 授業の取り組み姿勢 d: 記述の確認 e: 記述の確認
	評論	教材: 「ホンモノのおカネの作り方」	○			◎	○	a: 時代に即応して変化していく「ホンモノのおカネ」について理解し、貨幣論に親しむ端緒とする。 d: 逆説を駆使した論の展開を、本文に即して読み解く。 e: 評論の読解に習熟する。	a: 授業の取り組み姿勢 d: 記述の確認 e: 記述の確認

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力
d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。